

先端技術で社会と産業の進化を支える

第**64**期 報告書
2012年4月1日▶2013年3月31日

株主の皆様へ

最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、
ありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第64期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の
報告書をお届けするにあたり、当期の概況をご報告するとともに、
ひとつご挨拶申し上げます。



当期の概況

当事業年度(以下、「当期」という)の世界経済は、米国が雇用環境の改善とともに緩やかに回復基調となっているものの、欧州諸国における財政危機問題の長期化、中国をはじめとする新興国における経済成長速度の鈍化等、全体としては不安定な状況で推移いたしました。

一方、わが国経済は大震災の復興需要や政策効果等によって、当期の初めにおきましては順調にスタートいたしました。上期後半からは長引く円高や領土問題に端を発した近隣諸国との関係悪化の影響で、輸出の減少傾向が顕著になるとともに、政策効果の息切れによる個人消費の衰退や電力供給問題等が重なって、国内の景気は急速に後退してまいりました。昨年末の政権交代以降は、政府の緊急経済対策が打ち出されるとともに、為替相場におきましてもそれまでの円高傾向から期末には円安傾向に転じてきており、景気回復への期待は高まっているものの、当社の関連するデジタル家電並びに半導体製造装置業界の生産活動を復調させるまでには至りませんでした。

このような厳しい状況の中で当社は、比較的需要が好調なスマートフォン及びタブレット端末に関連する得意先並びに輸出の好調な自動車・車載部品に関連する得意先における省力化のための設備投資需要に向けて産業用ロボットを中

心としたFA機器、制御機器の販売拡大につとめるとともに、新しい設備投資が見込める得意先の開拓営業を全方位で展開してまいりました。また、管理面においてはコスト削減努力を継続するとともに、中堅・若手営業マンの営業力を強化するための社内外における社員教育並びにユーザーサービス向上及び社内の事務効率化に向けた第5次システム構築作業等を実行してまいりました。

以上の結果、売上高は181億51百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益は9億13百万円(前年同期比15.2%減)、経常利益は10億4百万円(前年同期比13.7%減)、当期純利益は5億85百万円(前年同期比12.1%減)を計上することとなりました。

株主の皆様に対する配当方針につきましては、業績連動型の配当性向を基本に、安定的な配当の継続をめざしております。当期の期末配当金につきましては、1株当たり50円を第64回定時株主総会においてご決議させていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月
代表取締役社長 三浦 直行

取扱商品実績

部門別概況

制御機器

生産工場の構成には欠かせない

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、スマートフォン関連の得意先における設備投資需要は堅調でありましたが、当期後半から回復を見込んでいた半導体製造装置に関連する得意先の需要回復が遅れていること及び大型液晶製造装置の得意先の需要が伸びなかったこと等により、制御機器全体の売上高は前期を下回る63億28百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

FA機器

工場の自動化・コストダウンを実現

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、スマートフォン関連の得意先向けに産業用ロボット、ファイバーレーザー溶接機及びレーザーはんだ付けロボット等の需要が好調でありました。また、自動車・車載部品関連の得意先における自動化のための設備投資需要も堅調でありましたが、OA機器関連の得意先からの需要が伸びなかったこと等により、FA機器全体の売上高はほぼ前期並みの91億44百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

産業機器

生産組立て作業に使用されている

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、自動車・車載部品に関連する得意先向けの無人搬送車等の需要は前期に引き続いて堅調でありました。また、包装機械関連の得意先からの搬送システム需要も好調であったことに加えて、当期から取り組みを開始したろ過フィルターの売上が寄与したこと等により、産業機器全体の売上高は26億78百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

売上高

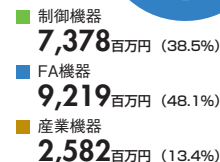
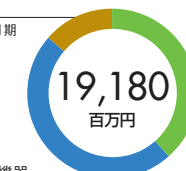
当期

平成25年3月期



前期

平成24年3月期



()内は構成比

ろ過フィルター

- ・液体、ガス・エアのろ過・精製・純化技術に係る製品
- ・半導体及びハイテク産業分野向けに販売展開

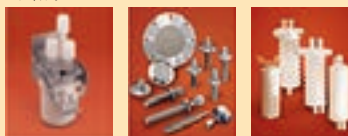
当期において、日本インテグリス株式会社と代理店契約（東京都及び関東8県における販売権を獲得）を締結し、新たに同社製品の取り扱いを開始しております。（日本インテグリスは、北米、アジア、ヨーロッパに事業展開する米国インテグリスの日本法人です。）

日本インテグリスのコア技術 メンブレンによるろ過技術

- ・液体（純水・薬液・溶剤など）、ガス・エアのろ過
- ・薬液特性に対応したメンブレン化技術（材質、構造、孔径）

応用製品例

・フィルター



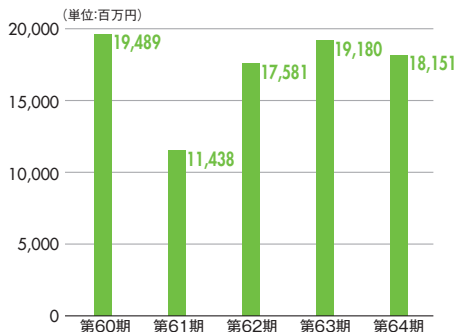
インテグリスは、マテリアル品質保持管理におけるリーダー企業で、半導体、フラットパネルディスプレイ、ハードディスクドライブ、太陽電池などのハイテク分野で使用される貴重な材料を精製、保護、搬送する製品・サービスを提供します。

財務ハイライト

業績の推移

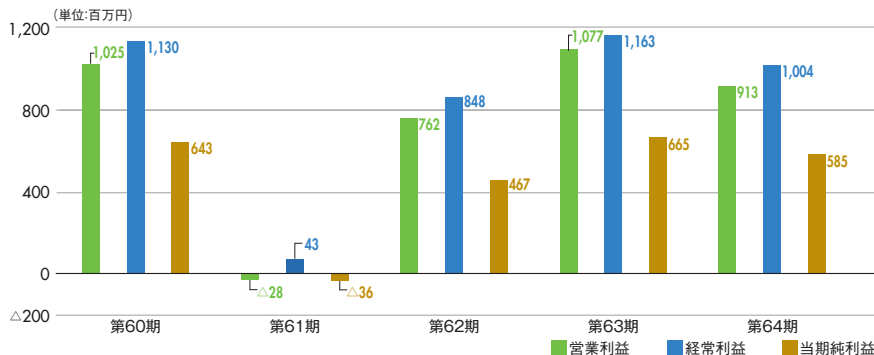
売上高 **181.51** 億円

売上高



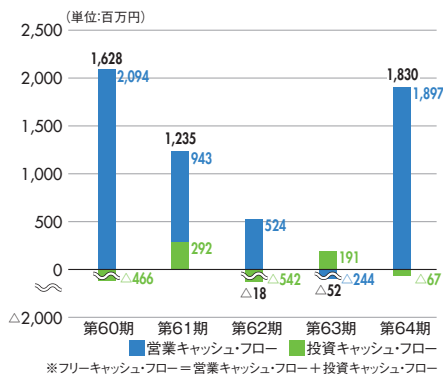
営業利益 **9.13** 億円 経常利益 **10.04** 億円 当期純利益 **5.85** 億円

営業利益/経常利益/当期純利益



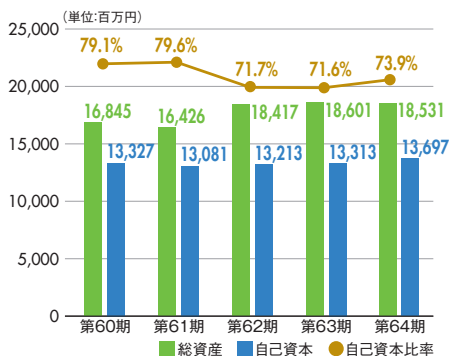
フリーキャッシュ・フロー*
キャッシュ・フロー **18.30** 億円

営業キャッシュ・フロー/投資キャッシュ・フロー/フリーキャッシュ・フロー



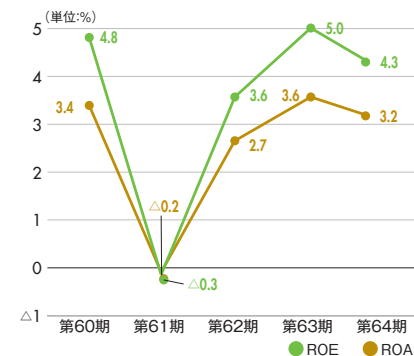
総資産
資産 **185.31** 億円

総資産/自己資本/自己資本比率



ROE ROA
利益率 **4.3%** **3.2%**

ROE/ROA



財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成25年3月31日現在)	前 期 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	13,955,972	13,935,632
固定資産	4,575,639	4,665,938
有形固定資産	2,020,427	2,009,175
無形固定資産	12,371	12,740
投資その他の資産	2,542,839	2,644,022
資産合計	18,531,611	18,601,571

科 目	当 期 (平成25年3月31日現在)	前 期 (平成24年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	4,644,387	5,124,475
固定負債	189,337	163,432
負債合計	4,833,725	5,287,908
純資産の部		
株主資本	13,600,022	13,252,249
評価・換算差額等	97,864	61,413
その他有価証券評価差額金	97,864	61,413
純資産合計	13,697,886	13,313,663
負債及び純資産合計	18,531,611	18,601,571

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	前 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	18,151,073	19,180,633
売上原価	15,390,298	16,183,958
売上総利益	2,760,775	2,996,675
販売費及び一般管理費	1,846,901	1,919,552
営業利益	913,874	1,077,123
営業外収益	93,501	89,663
営業外費用	3,222	3,702
経常利益	1,004,153	1,163,083
特別利益	1,702	—
税引前当期純利益	1,005,855	1,163,083
法人税、住民税及び事業税	396,900	490,500
法人税等調整額	23,691	6,914
当期純利益	585,264	665,668

会社情報

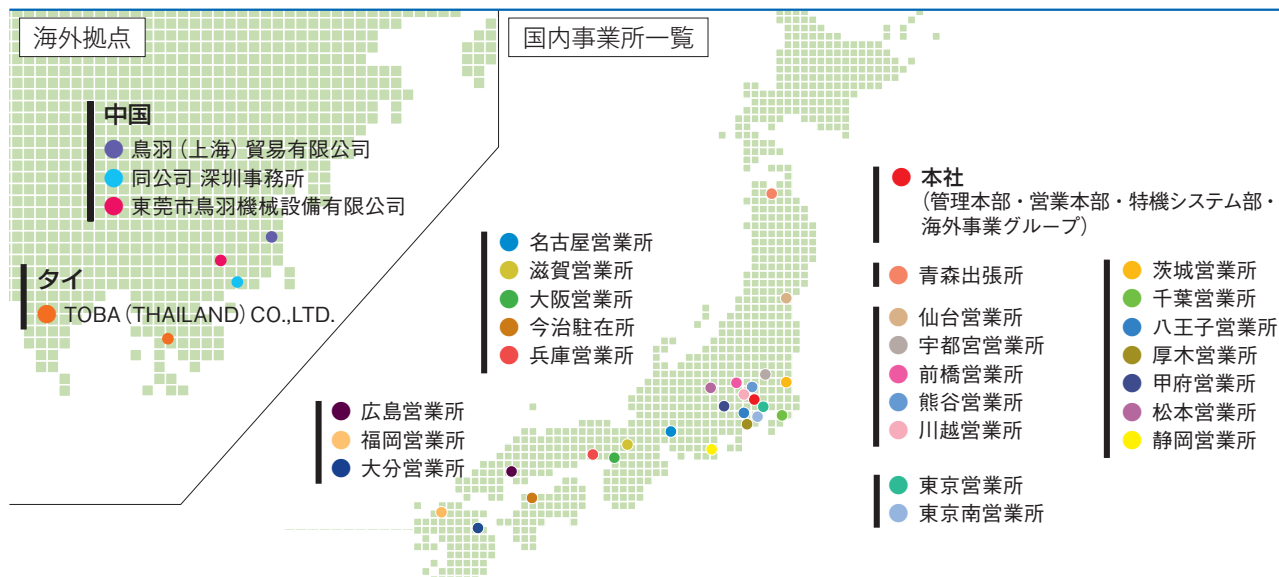
会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行(英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日(創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。
従業員数	195名(男性：137名 女性：58名)(平成25年3月31日現在)

役員 (平成25年6月14日現在)

代表取締役社長	三浦直行
常務取締役	藤原茂夫
取締役	遠藤稔
取締役	鳥羽重良
取締役	松永健一
取締役	尾関真一郎
常勤監査役	大島伸雄
監査役	金森浩之
監査役	廣瀬勝一

営業ネットワーク (平成25年4月1日現在)



株 式 情 報

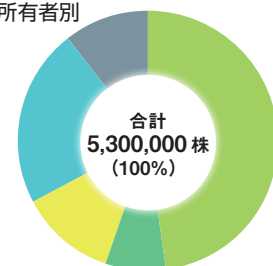
(平成25年3月31日現在)

株式数及び株主数

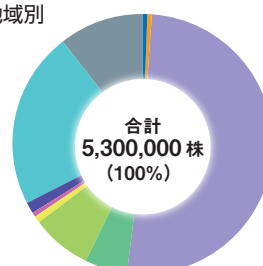
発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	5,300,000 株
株主数	1,965 名

株式数分布状況

所有者別



地域別



I R 情 報

平成24年7月29日
「個人投資家向け
会社説明会」
を実施



(写真は、平成24年7月29日札幌にて実施しました「個人投資家向け会社説明会」の状況です。)

当期のIR活動実施状況

- 平成24年5月22日
2012年3月期 決算説明会(アナリスト向け)実施
- 平成24年7月29日
個人投資家向け会社説明会(札幌にて)実施
- 平成24年11月22日
2013年3月期 中間決算説明会(アナリスト向け)実施
- 平成24年12月1日
「株主優待フェスタ」* 出展
- 平成25年3月2日
「株主優待フェスタ」* 出展

※主催：大和インベスター・リレーションズ株式会社

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 (http://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更、単元未満株式の
買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

株主優待制度のお知らせ

制度の内容は、下記のとおりであります。

所有株式区分	1,000株以上	100株以上1,000株未満
	オリジナル・クオカード 3,000円相当を進呈	オリジナル・クオカード 1,000円相当を進呈
		
	継続保有3年以上	
	当社オリジナル・クオカード 6,000円相当を進呈	当社オリジナル・クオカード 2,000円相当を進呈

(注) 継続保有3年以上の確認にあたっては、平成25年3月末日以降、毎年3月末日の株主名簿に同一の株主番号で、連続して4回以上記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。



株式会社 鳥羽洋行

〒112-0005 東京都文京区水道二丁目8番6号 ☎ (03) 3944-4031
<http://www.toba.co.jp/>